

会報 “ののいちっ子”

令和5年3月31日

VOL.34



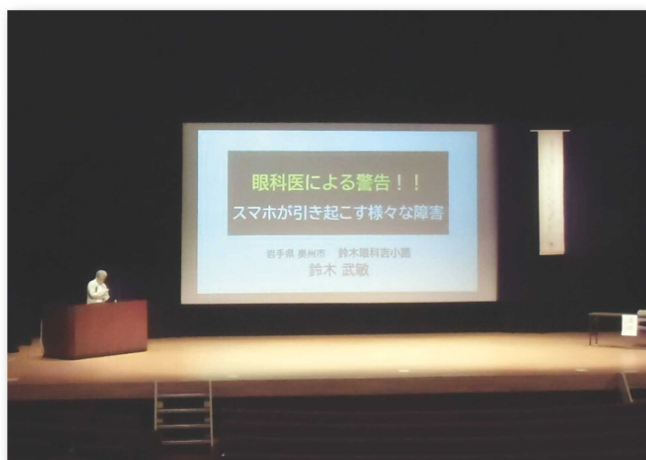
▲子どもと大人のまちぐるみ美化清掃



▲御園小学校あいさつ運動



▲布水中学校あいさつ運動



▲青少年育成研修会

子どもたちを地域総がかりで育むためのコミュニティ・スクールも始まり、未来を担う野々市市の大切な青少年が心豊かで素晴らしい大人になるように、市民会議では地域や家庭、学校と連携・協力し市民総参加による青少年の健全育成に取り組んで参りたいと思います。

魅力ある地域が青少年を育てていくと思います。関係各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平素は、ののいちっ子を育てる、市民会議の活動にご理解とご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

市民会議は発足より「青少年健全育成の推進」「地域の連帯感の醸成」「市民の実践力の向上」を目指し、昭和55年から市内全域で展開している『愛と和 ののいち5万人あいさつ運動』や『子どもと大人のまちぐるみ美化清掃』など、地域全体で子どもたちを見守る活動に際し、町内会や地域の方々にご協力いただき、深く感謝を申し上げます。



会長あいさつ

ののいちっ子を育てる、市民会議

会長 北川 千里

『愛と和 ののいちっ子万人 あいさつ運動』

○全市民での継続的な取り組み

「あいさつ運動」は、市民会議が中心となつて昭和55年から市内全域で継続的に展開をしており、今年度で43年目の取り組みとなります。



○のぼり旗の掲示

のぼり旗は運動期間中、各学校の正面玄関などで掲示されました。また、この活動に賛同されご寄付を頂いた町内会や交番、消防署、公共施設にも設置していただき、運動期間中は市内の多くの場所で見られました。

○あいさつ運動標語ポスターの掲示

市内の小学生があいさつをテーマに標語とし、その中から選抜したものを採用しています。このポスターは一学期と二学期の開始に合わせ市内の学校や公共施設などで掲示されました。

これからも市民会議は「あいさつ運動」を啓発、拡大し、地域全体で子どもたちを見守る環境作りを行っていきまますので皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。



愛と和のひと声運動

～野々市中学校での取り組み～

○あいさつは、人と人をつなぐ

野々市中学校では、よい仲間づくりの第一歩として挨拶

をかわすことを大切にしています。生徒の皆さんには、年度当初の始業式や入学式で挨拶についての話をしています。また、折に触れ学校便りにも挨拶の大切さを生徒・保護者の皆さんに伝えていきます。毎週月曜日と木曜日には、民生委員・児童委員・保護司の方が玄関に立って登校してくる生徒に対して、挨拶をかわしてくれまます。今年度は、コロナ禍で中断していたPTA活動として、「ののいちっ子万人あいさつ運動」の時期に合わせて、クラス毎に日を決め保護者の参加の下、生徒達が挨拶運動に取り組みました。本校生徒の特徴として、挨拶と共に会釈をしてくれる生徒が多いことがあげられます。マスクをしている中での挨拶なので、声にプラスして動作をつけてくれる生徒の様子を見ていると元気良さや活発さは少ないですが形の整った挨拶が出来ていると感じています。コロナ禍ではありますが、できるだけ保護者やお客様が訪れる機会を設け、生徒が挨拶する場面を増やしていくことが大切であると考えています。



○日中や放課後の挨拶について

「おはよう」の挨拶も大切ですが、日中の来校者に対しての挨拶や帰りの挨拶も大切であると考えています。今年度は、何度か来校した外部の方から、「校長室に来るまでの中で、『こんにちは』と声をかけられ、とてもいい気持ちになりました。」という感想を聞くことができ、とてもよい気分になりました。帰りの挨拶は、まだまだこちら



から声をかけないと挨拶が返ってこない面もありますが、挨拶をかけあうことの心地よさを生徒に感じてもらい、自分から挨拶ができる生徒に育って欲しいと考えています。

今後も、保護者、地域の皆様の温かいご支援をいただきながら、取り組んでいきたいと思ひます。ご協力をお願い致します。

『子どもと大人の

まちぐるみ美化清掃』

社会参加活動と健全育成活動の実践力を養う一環として「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」を7月3日（日）に行いました。

○地域の連帯と子どもの郷土への愛着

3年ぶりに53町内会で子どもと大人が明るく会話を交わしながら、一生懸命に地域の美化清掃に取り組んでいただきました。今年は子どもの感染者が増えている中での開催となり、各町内会さんには熱中症対策に加え感染対策に注意するなど、ご尽力をいただきました。ご協力ありがとうございました。

また、野々市市明倫高等学校では6月16日（木）に、全校生徒・教職員820人で、敷地内に限らず近隣の地域の清掃活動もしていました。



青少年育成研修会

開催日 7月16日(土)

テーマ 眼科医による警告!!スマホが引き起こす

様々な障害

講師 医学博士・眼科専門医

日本眼科学会評議員

日本神経眼科学会評議員 鈴木武敏 氏

主催者 ののいちっ子を育てる 市民会議

野々市市PTA連合会

野々市市青少年メディア対策連絡協議会

会場 野々市市文化会館フォルテ大ホール

参加者数 145名

鈴木先生の講演は3回目となりますが、毎回最新の情報を分かりやすく説明いただき好評を得ています。今回は「なぜスマホが問題を起こしやすいのか」「依存症について」「成績への影響」など保護者が心配しているテーマを中心に話いただきました。

また、今回は前日に市内中学2年生を対象にご講演いただき、子どもたちが真剣に視聴していました。

スマホは子どもだけの問題ではなく、大人も気を付けなければなりません。聞いて終わるのではなく、次に繋げるように活動が続けなければと思いました。



スマホ、タブレット、ゲーム機に関するアンケート2022

実施時期 令和4年5月

対象 小学校 3年生以上

中学校 全生徒

保護者 市内保育園保護者

小中学生保護者

幼児、児童、生徒がメディア機器とどのように接触をしているのか、またそれについて各家庭でどのような対応をしているのか、その実態を把握する目的で「スマホ、タブレット、ゲーム機に関するアンケート」を野々市市PTA連合会と連携して行いました。

学校ではクロムブックが活用され、家庭でもメディア機器は生活の一部となっていますが、学年が上がるにつれて使用時間が長くなり、使用時間も遅くなります。睡眠時間や学習時間が削られて、健康や学力が心配されます。また、スマホの所持率やトラブル、家庭でのルールについて親子の回答にズレが見られます。

保育園では、6〜8割の子どもが何らかの形でゲーム機に触れていて、スマホを使いたがる子どもは未満児から多く見られます。保護者自らの使い方が子どもに対してどのような影響があるのか折に触れて考える機会が必要だと思いました。

今後も毎年アンケート調査を行いますので、ご協力をお願い致します。

アンケート結果



家庭のルール作り啓発

「のっティスタンド」

市民会議は、各家庭でのルール作りがとても重要だと考え、今年度も市内全小学校1・3・5年生と市内保育園・こども園(4歳児)に加え、中学1年生を対象に児童・生徒及びその保護者へ向けてタブレット対応型「のっティスタンド」の配布を行いました。

「のっティスタンド」は親子で作製していきます。各家庭でのゲーム機等の置き場所として、そこに戻す時間などを決めることで、依存を防止する事を目的としています。親子で「午後8時には片づける」「リビング以外では使わない」などの各家庭のルールを決め、そのルールを書き込める仕様となっています。

子どもが使うメディア機器は保護者の適切な管理が求められます。ルールを守ることの大切さを教えるとともに、問題が起こる前にペアレンタルコントロール(保護者による使用制限)設定やフィルタリングなどの機能を活用して子どもたちを守り、健やかに育んでいきましょう。



ネットモラルを

呼びかける標語ポスター

○「ネットモラル標語ポスター」の掲示

市民会議ではネットモラルの啓発を目的に標語ポスター

ターを作成しています。市内の中学生がネットの問題について、感じたことを標語とし、その中から選抜したものを採用しています。

このポスターは夏期と冬期の学校の長期休みに合わせ市内の学校や各町内会、公共施設などで掲示されました。



地域学校協働本部の役割と実績について

野々市市では、未来の野々市を担う子どもたちの健全やかな成長を目指し、家庭・地域・学校が連携・協力しながら「地域とともにある学校づくり」を推進しており、令和4年度からコミュニティ・スクールの取り組みが始まりました。市民会議ではこのうち「地域学校協働本部」の運営・業務を担っています。

○コミュニティ・スクールとは

市内各小中学校に設置した「学校運営協議会」と

学校・地域の架け橋となる「地域学校協働活動本部」が連携・協働する仕組みを言います。

○地域学校協働本部について

学校（学校運営協議会）と地域の連絡調整役として、学校からゲストティーチャーや支援ボランティア等の依頼があった際に、地域学校協働活動ボランティア人材バンクの登録データをもとに学校に対してボランティアの方を紹介します。また登録データにない依頼があった場合についても、順次対応しています。

（主な業務と令和4年度の実績）

①学校支援

地域学校協働活動ボランティア人材バンクの登録数

88（個人・団体・会社含む）

②学校と地域の調整

学校からの依頼があった際のボランティア等の紹介

件数 16件

（例）家庭科授業（玉止め、玉結び、ミシン）の補助、支援を要する子への補助、算数の学習補助、学校図書室における本の修理 など

○なぜコミュニティ・スクールが必要なのか

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、課題の解決と子どもたちの豊かな成長のためには「地域総がかり」での教育の実現が不可欠です。コミュニティ・スクールは、地域住民と学校が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる制度です。この仕組みによって保護者や地域の皆さんがより学校運営に参画しやすくなります。

○学校運営協議会について

評議員会の仕組みを学校運営協議会に移行しました。

・市内各小中学校に設置 計7か所
（主な業務）

・学校運営の基本方針を承認
・学校運営についての意見

【地域学校協働活動ボランティアの募集】
子どもたちや学校のために役立ちたいという思いがあれば誰でも参加できます。
【活動例】
本の読み聞かせ、図書整理、パソコン学習の補助、郷土芸能や町の歴史などの紹介など。
【登録について】
市ホームページの「地域学校協働ボランティアの募集」ページから、もしくは下記2次コードから登録してください。



令和4年度

市民会議活動日誌

4月1日（金）

愛と和ののいち5万人あいさつ運動推進ポスターの掲示

5月10日（火）

愛と和ののいち5万人あいさつ運動

5月25日（水）

のっティスタンド配布

7月1日（金）

ネットモラル標語ポスターの掲示

7月3日（日）

愛と和ののいち5万人あいさつ運動

8月30日（火）

愛と和ののいち5万人あいさつ運動

9月21日（水）

愛と和ののいち5万人あいさつ運動

10月1日（土）

愛と和ののいち5万人あいさつ運動推進ポスターの掲示

11月15日（火）

愛と和ののいち5万人あいさつ運動

1月1日（日）

ネットモラル標語ポスターの掲示（冬期）

その他

役員会・常任委員会（年4回）

随時

環境浄化活動・非行防止活動・メディア対策事業・啓発活動

令和5年度 行事予定

愛と和ののいち5万人あいさつ運動

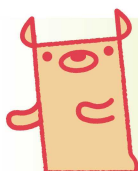
【街頭呼びかけ】5月11日（木）
【第1期】5月11日（木）～5月17日（水）
【第2期】7月1日（土）～7月7日（金）
【国民安全の日・青少年の非行・被害防止全国強調月間】
【第3期】8月30日（水）～9月5日（火）
【2学期始業】
【第4期】9月21日（木）～9月27日（水）
【秋の全国交通安全運動】
【第5期】11月14日（火）～11月20日（月）
【家族の日・子ども・若者育成支援月間】

子どもと大人のまじぐるみ清掃

7月2日（日）午前中
※実施場所・時間は町内会毎に決定します

青少年育成研修会

7月15日（土）
野々市市文化会館フォルテ大ホール



“ののいちっ子を育てる” 市民会議

石川県野々市市三納一丁目1番地 野々市市教育委員会生涯学習課内
TEL 076-227-6117 FAX 076-227-6258
HP <http://sodateru.nono1.jp>
メール sodateru.nono1@city.nonoichi.ishikawa.jp